

第3回 中札内村景観まちづくり委員会 会議録

日 時 令和4年6月13日(月) 18:30～20:45
場 所 役場庁舎 会議室2
出席委員 金澤和彦、片山祐二、歌野裕美、飯沼かおり、中田洋介
欠席委員 下埜智加、保坂裕子、嶋崎陽介
アドバイザー 齊藤浩二
事務局 総務課長 中道真也、総務課長補佐 下浦強、総務課主査 竹村幸二、総務課主事 吉田彩乃

議 事

開 会 18:30

(中道課長) こんばんは。お忙しい中ご出席いただきありがとうございます。会議に入る前に、この春に人事異動がありましたので事務局の紹介をいたします。
この後は金澤会長から挨拶いただき、進行をお渡しします。よろしくお願いします。

(会 長) こんばんは。良い季節になりましたが、あいにく寒い日が続いています。景観とは目に見えるものだけではなく、記憶や思い出によって形成されていくものです。五感、六感で感じるものが景観だと痛感しているところです。
先日、「日本で最も美しい村」連合北海道連携会議の集まりで、道内加盟村の首長の前で景観について語ってきました。本日の議題にも含まれています。その他、本日の議題は議案のとおりです。よろしくお願いします。

－ 会長 資料1に基づいて報告 －

(会 長) 委員の皆さんから感想を伺いたいと思います。

(委 員) 息子が会長の姿を見てゴミを拾うようになりました。保育園の駐車場で子どもがマスクを拾ったことがありました。子どもたちだけではなく、「汚いから置いていきなさい」と考えがちな大人たちに対しても問題提起が出来たかなと思っています。

(委 員) 小さい頃から村に住んでいますが、これまでの景観の活動について知りませんでした。景観についての歩みを知ることが出来、良い資料だと思います。自分の子どももゴミを拾います。中には汚い物もあり、それらを拾うことで友達に何かを言われるのか、村では拾わず、帯広市で拾うようになりました。ある程度の年齢になると、差別や偏見とか入ってきてしまうので、小さい頃からゴミ拾いについて問題提起などで意識付け出来ると良いですね。

(会 長) 景観学習の一環としてプログラムに組めると良いです。

(委 員) 講演を生で見たかったというのが正直な感想です。特に資料31、32ページが刺さりました。合わせ鏡の法則ではないですが、景観は、自分の心を映し出しているのかなと思います。息子が少年団の練習へ時間に余裕をもって行き、空いた時間にグラウンドの石など拾っているそうです。身近な所では、雪解け時期、農道の法面に弁当ガラやペットボトルがよく落ちているので拾わないといけないなと思っているところです。子どもがやっているのに、やらないのは示しがつきません。

(会 長) 良い仕事をする人は、仕事場も綺麗です。畑の作り方に人柄が出ると景観懇談会で聞いたことがあります。畑が美しいのは、農家さんの努力によるものです。

(委 員) 資料作成お疲れ様でした。他町村の方の反応や、意見などは何が出ましたか。

(竹村主査) 会長は我慢してゴミ拾いしているのか、何を感じながら続けているのかといった質問が出ました。

(会 長) 出席者が多くて驚きましたが、皆さん真剣に聞いてくれました。同じ内容で村民の皆さんに講演出来たら良いですね。

(竹村主査) 会議後、資料が欲しいという声が多く自治体からあり、おそらく資料を全部の町村に渡したと思います。

(斉藤アドバイザー) こういったことも景観まちづくり委員会として大事な活動だと思います。

(委 員) 村ホームページに資料を載せたら良いのではないのでしょうか。

(下浦補佐) 会長の許可をいただけるのであれば是非掲載したいですね。

(会 長) 問題ありません。資料内のP3 「45年前」の文言を無くせば良いかと思えます。

－ 竹村主査 資料2に基づいて説明 －

(会 長) 3月議会で付された意見は「無いよりはあったほうが良いのでは」という意図だと思います。村としての考え次第だと思いますが、方針等は何か示されていますか。

(竹村主査) 農村景観ガイドプランでは、不必要なものは無くしていく“修景整理”という手法が紹介されていますが、村としての明確な方針等はありません。

(会 長) 一人ずつ意見を聞いていきたいと思います。

(委 員) 3月議会の議事録を読みましたが議員も強い口調でないことがわかりました。取り壊す方のデメリットの方が多という考え方からきている意見なのかなと思います。この看板は、運転している人が見るといより、村外の人歩いている時に見るものなのかもしれません。取ってしまつてデメリットは、あるでしょうか。議会では「余分な看板ではなく、“あつたほうが” …」と言つていましたが、別になくても良いのではないのでしょうか。今ある看板の支柱を再利用して新しい看板を付けるのは、やめた方が良いでしょう。曲面になってしまつていますが、街路灯に反射式のシールを貼るかたちでも良いのではないかなと思つています。

(竹村主査) シールという考えは無かつたです。それであれば、帯広開発建設部に提出を求められている耐荷重の計算書もいらないかもしれません。

(委 員) 南側から北へ向かつて走る時に、右手側に看板があると、かえつて危ないのではないのでしょうか。ある程度の年代の方であればナビが使えます。どの程度までデジタル機器が使えない人に配慮するのか、本当にあつたほうが良いものなのか。個人的には無くても良いと思つています。地元の間人だからそう思ふのかもしれませんが。

(竹村主査) 周りに看板等何もない所に看板があると最後の決め手として機能します。上札内交流館の入り口は、目印になっています。市街地の数ある看板の中の一つだと埋もれてしまつています。

(委 員) 個人的にはいらないと思つています。表記を消した跡のある看板は、景観的には良くないですが、ナビがない人は使うかもしれません。

(委 員) 全部いらないと思つています。案内表示がある施設は、村民が使う場所だと思つますし。唯一、運動公園が必要かなと思つましたが、名称がバラバラで逆に迷つたことがあります。「運動公園」と「札内川総合運動公園」が同じものなのか分かりません。道が細い所を曲がつたりするので危ないとも思つています。

(委 員) 道道55号に行く際のT字路にある青看板に貼つてもらふのはどうでしょうか。

(齊藤アドバイザー) 車のための看板なのか人のためなのかはつきりしていなくて意見が様々出ているところです。設置の目的が判然としません。撤去して困る人は何人かいるかもしれませんが、撤去してしまうのが良いと思つています。ナビがない人が目印にできるような看板は、景観に障りが出るものになってしまつています。現状、車を看板で誘導するのは、なしだと思つています。電柱に表示を貼るのも一つの手段ですが、情報量は限られてしまつています。道案内の仕方を考へた方が良いでしょう。交差点に名前・地名など愛称をつけ、そこに一つ、その名称がわかるサインを付けると良いでしょう。道案内が口頭

で伝わるようになると良いです。

(会 長) 現状の看板は大きさ、設置位置が中途半端です。撤去のデメリットとしては、情報マイノリティがいるという点ですが、それは青看板に書いてあれば良いのではないのでしょうか。撤去をしても、それを補完する何かがあれば良いのではと思います。

(委 員) 補完方法については、電柱などに表示を貼るので良いのではないのでしょうか。

(会 長) 愛称を付けるのは、ワークショップなど開けると良いのではと思います。

(斉藤アドバイザー)「現状大きなものは考えられないため撤去します。その上で補完する方法は、これから提案します。」ということによろしいのではないのでしょうか。

(会 長) 景観という視点で言えば撤去ということで皆さん意見は、まとまったかと思います。

(全 員) 異議なし

ー 竹村主査 資料3に基づいて説明 ー

(竹村主査) もう一つの候補地になっていた清里町についても今年度中に事務局のみで行けたらと思っています。また、黒松内町からは、近くにあるニセコ町もオススメと言われています。無電柱化が進んでおり、街並みを見るだけでも良いのではとのことです。

(会 長) もう少し早い時間に出発でも良いのではないのでしょうか。早く着いたとしても、街中を歩くこともできます。街歩きも大事です。

(委 員) ブナ林は、歩けるのでしょうか。

(斉藤アドバイザー) 出来たらブナ林は、ガイドをつけて歩けると良いです。ブナ林を保護しながらのまちづくりの手法なども景観を学ぶ上で重要なところです。

(竹村主査) 資料のとおり2日目の行程で検討します。委員5名分の予算があります。

(会 長) 基本は、資料のとおりでよろしいでしょうか。

(全 員) 異議なし

－ 竹村主査 資料4に基づいて説明 －

(会 長) チラシのデザインについて一言。写真にあまり文字が被らないようタイトルは行間を詰めて上に、畑部分に被っている3行は行間を詰めて下の方へ移動してください。

(委 員) 投稿の際は、ハッシュタグだけでなく、何か文章を入れてほしいと思います。できればタイトルと撮影場所も。必須条件ではなく、「一言添えてください」程度でお願いできたらと思います。

－ 竹村主査 資料5に基づいて説明 －

(会 長) 以前、防風林研究者である梅澤弘一さんのお話を聞いたことがあります。かなり専門的で詳しい方なので、今回もお願いできるか聞いてみます。

(竹村主査) 振興局の方も声をかければ、相談にのってもらえると思います。

(委 員) 個人的にも勉強したいテーマです。防風林を上から見てみたいですね。

(委 員) 身近にあるので気にしたことがありませんが、勉強出来るならしてみたいと思います。

(委 員) 防風林は身近な存在です。勉強したいですが、時期的に参加できるか分かりません。自分の仕事とリンクしてくることなので興味はありますね。

(会 長) 動画を撮って動画サイトにあげると後で見られて良いかもしれませんね。

(委 員) 10月末だとカラマツの紅葉が始まっています。例年、文化の日のあたりがカラマツの紅葉時期です。企画段階でボランティアに入ってもらえるのでしょうか。私たちが委員としてではなく、ボランティアとして動くということでしょうか。それも良いですが、新しい輪を広げるのも良いかと思います。

(竹村主査) 以前のワーキンググループの方には声をかけようと思っています。

(会 長) 時期が遅くなると、日が短くなるのがネックです。ビューティフルデーと繋げるのが良いと思います。

(委 員) 個人的に景観が良いと思うのはカラマツの紅葉時期。農村部の景色は壮観です。

(会 長) ワーキンググループが出来てから計画することで良いのではないのでしょうか。

(齊藤アドバイザー) 景観ツアーに関して、今回のテーマは「日本で最も美しい村」連合からの意見によるものであり、単年度では終わらないと思います。ただ、以前からお伝えしていることですが自然景観だけではなく、市街地景観をみんなで見た方が良いと思います。街の景観をみんなで議論するというのを提案したいと思います。また、今回の内容は、現地の調査・確認・話し合いとは別に座学も設けるのはどうでしょうか。講師の話聞くだけの座学をもつのか、ワーキンググループで話し合う前に、委員会でその辺を話し合うことも必要だと思います。景観を楽しむだけの集まりなのか、美しい村連合の意見に応えるためのものなのか、はっきりさせることが大切です。

(会長) ワーキンググループは別として、委員会としては5年後の審査を突破することが目標です。アウトプットを用意できるようにするという道筋でいったらどうかと思います。

次回の会議はいつ頃予定でしょうか。

(竹村主査) まずは7月にワーキンググループを組織して、開催したいと思いますので再度調整します。

(会長) 以上で景観委員会を終了したいと思います。おつかれさまでした。

閉 会 20 : 45

【要旨】

- ・子供たちに景観について考えさせる場を提供できたら良い。
 - ・「日本で最も美しい村」連合北海道連携会議での金澤会長の発表資料を村ホームページで紹介すること。
 - ・公共施設案内看板については、デメリットについて現状大きなものは考えられないため、撤去する。その上で補完する方法は、今後提案する。
 - ・景観行政団体先進地視察は、視察先を「北海道黒松内町」に決定する。ブナ林をガイド付きで見られるよう調整する。出発時間を早め、黒松内町での滞在時間を確保する。
 - ・ずっと残したい“なかさつない”の風景の募集チラシは、写真に文字が大きく重ならないよう調整すること。また、投稿時に一言添えてもらい、撮影場所を記載してもらえよう依頼する。
- (応募要件とはしない)
- ・景観ツアーは、“防風林”をテーマとする。手法の詳細については、ワーキンググループで決めることになるが、方向性だけは、景観まちづくり委員会で示す必要がある。
- 開催までの時間がないので景観まちづくり委員会グループラインでの調整を検討します。